

# 平成25年度事業計画

# 平成25年度事業計画について

## 1. 方針

社会の状況がどのように変わろうとも青少年の育成において本会が目指してきた自立、積極性、協調性、社会性等育む機会の場を提供するという事はかわることはないと考えます。国内での実施する国流プログラム、外国で実施する諸外国の青年とのプログラムを通して、積極的に交流を図り、異なる世代、異なる社会に生活している同世代の青少年と交わりながらの共同生活、共通体験は、重要な経験となっていくと確信しています。

より高い国際理解と広い視野を育成し、この目的に即した研修・教育の場を適切かつ安全に体験できる機会と場所を継続的に適宜提供していくことこそ本会の責務と考えます。

## 2. 平成25年度の重点課題

平成23年度は、東北関東大震災という未曾有の災害からスタートすることとなりました。平成24年度もその影響を受けた社会状況の中にありました。平成25年度も引き続きこうした状況の影響がまだ続く中での活動となるとは思いますが、社会は少しずつとはいえよい状況に向かう可能性を見せ始めています。

平成24年度の各実施事業を顧みると、海外派遣事業は横ばいまたは参加者の上昇がみられますが、これは一般の参加者が増加したのではなく、地方行政からの派遣参加者、私立学校からの派遣参加者が新しく参加するようになったことが主な原因といえます。

また、国内の大型プログラム（夏休み国際交流キャンプ、春休みのちびっ子冒険学校ヨロン島）の参加者に占める行政からの派遣もその割合が多く、一般からの参加者の増加がほとんど見られないといえます。

こうした状況を踏まえ今年度は一般の参加者の増加を主眼に告知活動に力を入れていきたいと考えます。

課題 1：地方広報紙への告知掲載依頼活動の強化。

- ①広報に告知記事を掲載していただいた行政への報告と次回掲載依頼の訪問
- ②参加者が居住する行政広報課への報告を兼ねた依頼活動

課題 2 : 企業の広報、福利厚生担当への依頼活動

課題 3 : ホーム頁のリニューアル

- ①プログラム内容情報量の増加
- ②参加者の感想の頁を増やす
- ③現地情報のリンクの充実

### 3. 平成25年度 活動計画の概要

#### 【1】国内交流プログラム

8月 国際交流キャンプ（4泊5日）

実施地区：本栖湖キャンプ場

実施日：8月上旬

対象：小学4年生から中学3年生

募集人員：100名

内容：富士登山、各国の遊び体験、野外炊飯、異文化交流他

8月 ちびっ子冒険学校 in 小笠原（7泊8日）

実施地区：小笠原父島

実施日：8月中旬から下旬

対象：小学4年生から中学3年生

募集人員：30名

内容：小笠原世界遺産自然体験

環境保護活動の見学、トレッキング、海体験

12月 ちびっ子冒険学校 in 北海道（5泊6日） 予定

実施地区：札幌～道東

実施日：12月下旬

対象：小学3年生から中学3年生

募集人員：30名

内容：かまくら作り（宿泊）、雪原体験、牧場体験他

3月 ちびっこ探検学校 ヨロン島（6泊7日）

実施地区：鹿児島県大島郡与論町

実施日：3月下旬～4月上旬

対象：小学2年生から6年生

募集人員：日本人180人、外国人120名

内容：遊びを通じた国際交流体験、大筏作り、ハーレー船競争、島内ハイク、海水浴他

説明会の開催（国際交流キャンプ、ちびっこ探検学校ヨロン島対象）

施予定地区：札幌、仙台、山形、福島、新潟、松本、東京、静岡  
名古屋、京都、岡山、福岡、高松

中止活動 1. 日本列島縦断野宿の旅

中止理由 本事業は5月の連休に実施していますが、今年度は連続の休みが少なく日程的に難しいことを考え、この時期に新しいコースの調査を行い来年度に備えることとした。

2. ちびっこ冒険学校 in 無人島

中止理由 実施地域に生息するイノシシの増加に伴い安全の確保に問題があると考え平成24年度より中止している。これにともない新規プログラムとして「小笠原プログラム」24年度より実施した。

【2】春休み、夏休み、年末休み海外交流活動（小学生～高校生）

滞在：原則ホームステイ、一部研修にはキャンプ、ホテル泊を含む

期間：8日間～19日間（事前研修日を除く）

実施事業

夏休み	イギリス	語学研修
	カナダ	語学研修
	アメリカ	生活体験研修
	フィジー	自然体験（無人島キャンプ）と生活体験
	サイパン	生活体験
	シンガポール	学校体験
	カンボジア	負の遺産視察・生活体験と世界遺産見学
	オーストラリア	学校体験

		学校交流と生活体験 自然体験と生活体験 ニュージーランド 学校体験
年末休み	サイパン オーストラリア カンボジア	自然体験と生活体験（クリスマス） 生活体験（クリスマス） 負の遺産視察・生活体験と世界遺産見学
春休み	イギリス カナダ アメリカ フィジー カンボジア オーストラリア ニュージーランド	語学研修 語学研修 生活体験研修 自然体験（無人島キャンプ）と生活体験 負の遺産視察・生活体験と世界遺産見学 学校交流と生活体験 自然体験と生活体験 学校体験

#### プログラム内容

##### (1) 語学研修と文化交流（イギリス、カナダ）

学んだ英語を実際に試す場として、日本文化を紹介する会を開催するとともに、ボランティア体験、老人ホームでの交流会等を通して異なる文化をも体験します。

##### (2) 学校体験交流（シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド）

短期間ではあるが現地の学校に通学し、同世代の多くの外国青少年と交流を通して異文化体験をします。又、学校において日本を紹介する会を開催し、相互理解活動を主催します。滞在中にシンガポールでは独立記念式典が催されるため、日本では味合うことのできない体験も得ることができます。

##### (3) 生活文化体験（オーストラリア、カンボジア、サイパン）

オーストラリアではホームステイをしながら地域の活動に参加したり、学校を訪問して日本の文化を紹介しながら交流をします。小学生は小学校を、中高生は中高一貫校を訪問します。又、協力関係機関であるバサースト市の市長へも表敬訪問もおこないます。

カンボジアではポルポト時代の負の遺産、プノンペン市内のゴミ捨て場見学、不発弾・地雷処理政府機関からのレクチャー、アンコール遺跡群の見学を行うとともに、農村では高床式民家でのホームステイ

(4日間)、小学校での交流会(2日間 歌、折り紙、お絵かき、スポーツ)を開催します。

サイパンでは受け入れ機関であるサイパン市への表敬訪問(市長)、受け入れ家族達との交流会(双方とも歌、踊り等を披露)を通して異なる文化、生活を体験します。サイパンは海外派遣としては“初級”クラスのため、遊びを通じた活動を中心に企画されています。

#### (4) 野外活動体験(アメリカ、フィジー)

アメリカではインディアンテントでのキャンプ、乗馬等を体験する他、ホームステイも体験しアメリカ文化と自然を体験します。

フィジーでは無人島に4日間滞在し、自炊をしながら南太平洋の自然を体験します。又、ものの大切さ、自然の厳しさを直接体験しながら自分の周りあるものの大切さとありがたさを学びます。

説明会の開催(夏休み海外派遣、春休み海外派遣対象)

施予定地区:札幌、仙台、山形、福島、新潟、松本、東京、静岡  
名古屋、京都、岡山、福岡、高松

### 【3】ボランティア養成

実習対象を国際交流キャンプ、ちびっこ探検学校ヨロン島として、前期(6月~9月)、後期(11月~4月)の2回実施します。養成対象は18歳以上として、原則東京で養成講座を開催します。海外派遣の引率ボランティア養成も年2回(6月、12月)に実施します。養成の目的は国内と異なり自分の判断、渉外としての力が求められるため、この点を特に留意して実施します。又、国内ボランティア講座を終了した者たちへのチャレンジの場としても海外引率は良い体験となるため、海外派遣引率者の養成プログラムへの参加を促しています。

#### 【招致活動】

##### (1) シンガポール青年日本研修

主なプログラム	文部科学省事務次官表敬訪問、東京江戸博物館、学校体験、生活体験、東京ディズニーランド
受入れ時期	平成25年6月2日~6月19日 18日間
学校体験	浜松市立中学校 4項 6月3日~14日
ホームステイ	同上 1泊12日
来日生徒数	男子6名、女子14名(引率者2名)

(2) ジョージワシントン高校日本研修 (サンフランシスコ)

本会は東京滞在のサポートのみを受けています。プログラムの計画はジョージワシントン高校の日本語科の先生が行っています。

(3) フェアヒルズハイスクール日本研修 (メルボルン)

主なプログラム	東京江戸博物館、学校体験、生活体験、都内見学、東京ディズニーランド
受入れ時期	平成25年9月中旬～下旬 14～18日間
学校体験	千葉県茂原市の公立、私立高校
ホームステイ	千葉県茂原市とその近郊 6泊7日
来日生徒数	10～15名 (引率者2名)

(4) サイパン青少年日本研修

主なプログラム	生活体験、都内見学、東京ディズニーランド
受入れ時期	平成25年10月上旬～中旬 7日間
ホームステイ	都内またはその近郊 2泊3日
来日生徒数	10名程度 (引率者2名)

## 4. 平成25年度 収支予算について

### 1. 収入予算

平成24年実績予想基本に作成。

### 2. 支出予算

平成24年度支出実績を基本に作成し、事務所賃料、役員給与、役・職員賞与を計上した。また、新規採用職員の人件費 [10ヶ月程度] を計上した。

## 5. 新公益法人に関する取り扱い (予定)

認定日 (予定)	4月26日
移行日 (上記認定の場合)	4月 1日